

大会名称： 第54回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： 船橋アリーナ

Aコート

試合区分： 2回戦

期 日： 8月8日

ル-チ-フ

穂川 苑子

開始時間： 10:50

1st アバ 47

菊田 沙織

終了時間： 12:24

2nd アバ 47

堀口 拳

敷島								志茂田							
山梨								東京							
○ 63								● 34							
3 -1st- 10 25 -2nd- 6 23 -3rd- 5 12 -4th- 13 -OT1- -OT2- -OT3-															
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	長田 一花	22	3	6	1	2	4	*	滝沢 優華	3	1			1
5	*	幸野 真生	9	3			2	5	*	金野 愛美花	7	1	2		4
6	*	今村 優彩	5		2	1		6	*	鳥羽 陽菜乃	7	1	2		1
7		窪田 結月	0				1	7		芝田 一花	3		1	1	3
8		俵 かのん	0					8	*	杉崎 椿	14		5	4	2
10		林 紅葉	7		2	3	2	9		山内 菜々	-				
11		小林 清菜	2		1		1	19		古尾谷 菜々美	-				
13	*	種田 愛子	13	3	1	2	2	23	*	紙谷 亜香	0				1
14		氏原 玲奈	0					44		相澤 心菜	0				
17	*	藤井 遥	5	1	1		4	88		藤村 美月	0				
			-					17		山口 実莉	-				
			-					39		鳥羽 心菜	-				
			-					43		吉田 幸叶	-				
			-					77		高野 サリー	-				
			-					91		寺島 汐俐	-				
コーチ 石川 秀人								コーチ 林田 伸一郎							
A・コーチ 中井 敬吾								A・コーチ 松永 光貴							
合計			63	10	13	7	14	合計			34	3	10	5	12

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

2回戦、敷島対志茂田。敷島はオールコートマンツーマン、志茂田はハーフコートマンツーマンでスタート。1Q、敷島は果敢に3Pシュートを狙うもリングに嫌われ、流れをつかむことができない。志茂田は#6鳥羽のドライブからディフェンスを崩すもシュートが決まらず、ロースコアの展開となるが、1Q終了間際、志茂田の#4滝沢が3Pを決め、3-10で志茂田がリード。2Q序盤、敷島は#17藤井、#4長田、#5幸野の連続3Pで流れをつかむ。志茂田は敷島の足を使った固いディフェンスを崩すことができず、#8杉崎のミドルシュートなどを決めるも、このQで5本の3Pを決めた敷島が逆転し、28-16で2Qが終了。3Q、敷島は激しいディフェンスから速攻につなげ、得点を重ねる。流れを掴んだ敷島は、#13種田がこのQで3本の3Pが決めるなどし、リードを30点に広げた。4Q、追いつきたい志茂田は#5金野の3Pや#6鳥羽の3Pなどで得点をあげる。志茂田は敷島の3Pを止めるため、ディフェンスの距離を詰めて守るが、敷島は#4長田のドライブやジャンプシュート、#10林のドライブなど、ペイントエリア内で得点を重ね、準々決勝に駒を進めた。
敷島の方が勝ったゲームだったが、最後まで懸命にボールを追い続けた志茂田の粘りも称えたい。

大会名称： 第54回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： 船橋アリーナ

Bコート

試合区分： 2回戦

期 日： 8月8日 クルーチーフ 丸山 詩織 (東京)

開始時間： 10:50 1st アシスタント 山縣 卓 (千葉)

終了時間： 12:08 2nd アシスタント 安藤 有作 (千葉)

春日部東					●	48	○	51	陽南						
埼玉									栃木						
			16	-1st-	8										
			9	-2nd-	16										
			12	-3rd-	17										
			11	-4th-	10										
				-OT1-											
				-OT2-											
				-OT3-											
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
0	*	畠澤 花凜	16	2	5		2	4		関谷 瑠那	-				
1	*	成田 姫海	8		4		1	5	*	今野 陽葵	6		3		2
3	*	松本 海音	2		1		1	6	*	大久保 沙姫	26		13		1
7		石島 梨々愛	2		1			7	*	藤井 春	0				2
8	*	高橋 知花	2		1		1	8		松浦 叶実	0				
10	*	中村 茉未	18		8	2	1	9		沼尾 真奈	0				
11		笹谷 莉子	-					10	*	日野 芽育	2		1		1
21		大山 星空	-					12	*	岸 鈴華	17		7	3	1
24		木村 優希	-					13		持田 アイビ	-				
27		安留 樹希	0					14		若林 透	-				
44		古田 葵唯	-					15		大沼 円香	-				
72		田中 優茉	-					16		渡邊 和心	-				
74		長谷川 りのん	-					17		高橋 烈花	-				
75		澤田 雫	-					18		林 咲羽	-				
88		古庄 柚葵	-								-				
コーチ 鈴木 信行								コーチ 増田 富重							
A・コーチ 石川 一樹								A・コーチ 石島 滉大							
合計			48	2	20	2	6	合計			51	0	24	3	7

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

2回戦、春日部市立東中学校対宇都宮市立陽南中学校、両チームともハーフマンツーマンでスタート。立ち上がり、春日部東中は#0 畠澤、#10 中村、#1 成田のジャンプシュート、リバウンドシュートを決めて10-2とリードする。対する陽南中は#6 大久保のジャンプシュートを決め、1Qに1人で8得点。16-8で春日部東中がリード。2Q、陽南中は#6 大久保のポストプレイ、#10 日野の速攻からのレイアップシュートを決める。対する春日部東中は#10 中村が負傷して1度コートを離れるも、すぐにコートに戻り得点を決める。春日部東中#6 大久保の活躍で1点差までつめる。2Qが終わり、25-24で春日部東中がリード。3Q、陽南中は#12 岸がリバウンドシュートを地道に決め、逆転する。春日部東中を徐々に突き放そうとするが春日部東中#10 中村のドライブ、3Q終わりに#0 畠澤が3Pを決め、その点差を広げられずに37-41で陽南中がリード。4Q始め、互いにハーフコートマンツーマンプレスでプレッシャーをかける。陽南中は#12 岸がゴール下とフリースローで得点していく中、春日部東中は#1 成田の連続ジャンプシュートを決め、#7 石島がジャンプシュートを決め逆転するが、残り30秒、陽南中#5 今野がドライブからジャンプシュートを決め再逆転。残り12秒で陽南中#6 大久保がリバウンドシュートを決め3点差。タイムアウトを春日部東中がとり、セットプレイから3Pを狙うが実らずゲームセット。

大会名称： 第54回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： 船橋アリーナ

Cコート

試合区分： 2回戦

期 日： 8月8日 ルーチー 田中 健二郎 (東京)

開始時間： 10:50 1st 7th 17 雨宮 恵 (山梨)

終了時間： 12:07 2nd 7th 17 田中 優佑 (茨城)

昭和学院								○	山内								
千葉								82	神奈川								
				19	-1st-					9							
				19	-2nd-					9							
				21	-3rd-					6							
				23	-4th-					7							
					-OT1-												
					-OT2-												
					-OT3-												
●									31								
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F		
4	*	長尾 杏奈	12		6			4	*	伊藤 優亜	5	1		2	3		
5	*	長山 千鶴	7		3	1	1	5	*	工藤 君代	15	1	6				
6	*	中野 葉月	6		3			6		山下 美織	0						
7	*	齊藤 芽愛	25	5	5		2	7	*	木村 絢音	7		3	1	1		
8		薬師寺 愛莉	6		2	2	2	8	*	竹田 悠莉	2			2	1		
9	*	宮川 莉愛	9	1	3		1	9	*	水野 那月	2		1		3		
10		吉田 有沙	0				3	10		有岡 紗木	0				1		
11		児玉 夏	4		2		2	11		木下 明音	-						
12		加藤 怜奈	4		2			12		木下 凜胡	-						
13		木内 心々美	4		1	2		13		石田 愛奈	0						
14		薬師寺 愛菜	3		1	1		14		御園 卯衣	-						
15		秋山 柚乃	2		1						-						
16		和気 美怜	0								-						
17		齋藤 咲和	0								-						
18		石井 心望	0								-						
コーチ 一関 智子								コーチ 中野 亮									
A・コーチ 政木 美希								A・コーチ 安西 知美									
合計			82	6	29	6	11	合計			31	2	10	5	9		

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

2回戦昭和学院(千葉)対山内(神奈川)。昭和学院はオールコート、山内はハーフコートのマンツーマンでスタート。昭和学院は#9 宮川や#7 齊藤の1対1で得点を重ねる。対する山内は#4 伊藤の3Pや#7 木村のバスケットカウントなどで対抗するが昭和学院の粘り強いディフェンスからの速攻が連続で決まり、1Qを19-9の昭和学院リードで終える。2Q、序盤から昭和学院の力強いドライブが連続で決まる。山内は#5 工藤の3Pや#9 水野のドライブからのレイアップが決まり流れをつかもうとするが、昭和学院はディフェンスのプレッシャーを強め、主導権を譲らず38-18で前半終了。3Q、中盤まで互いに一進一退の攻防が続く。昭和学院#7の3P、#6 中野のカッティングプレー、#11 児玉のドライブインが連続で決まり流れをつかむ。山内も果敢に1対1を仕掛けるが昭和学院の激しいディフェンスによりシュートがなかなか入らず59-24で3Qを終える。4Q、山内は#4、#5が積極的に1対1を仕掛けるが、昭和学院はメンバーチェンジした選手が最後まできっちりとしり、82-31で試合終了。昭和学院が勝利したが、最後まで粘り強く戦った山内の健闘も称えたい。

大会名称： 第54回関東中学校バスケットボール大会

開催場所： 船橋アリーナ

Dコート

試合区分： 2回戦

期 日： 8月8日

クルーチーフ

円谷 玲美

(千葉)

開始時間： 10:50

1st 7PM 17

山口 拓朗

(千葉)

終了時間： 12:08

2nd 7PM 17

石山 達也

(千葉)

共栄学園								高崎							
東京								茨城							
○ 67								● 41							
16 -1st- 9															
9 -2nd- 16															
21 -3rd- 2															
21 -4th- 14															
-0T1-															
-0T2-															
-0T3-															
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	川名 美羽	25		10	5		4	*	宮本 怜奈	11		5	1	3
5		新井 英恵	4		2		1	5	*	関口 遼	0				1
6	*	吉留 優	13		6	1	2	6	*	浅野 あんな	2		1		3
7	*	白井 鈴乃	5		2	1		7		大塚 優菜	0				1
8	*	本多 かえで	11		5	1		8		木間塚 莉央	0				
9		長谷川 結	6	2				9	*	市原 美理	19	3	5		2
10	*	深谷 柚月	3	1			3	10		田邊 七海	2		1		
11		中川 結和	0				3	11		外山 美羽	0				
12		西崎 杏	0					12		倉持 椿	0				
13		長島 心咲	-					13		千葉 美海	-				
14		加茂下 杏珠	0					14		西村 咲希	-				
15		大作 羽稀	0					15	*	森 心咲	7	1	2		2
16		小林 杜妃	0					16		亀田 詩花	-				
17		青木 真緒	0					17		来栖 芽	-				
18		高橋 海鈴	-					18		澤之向 結	-				
コーチ 杉山 卓誠								コーチ 小柳 拓弥							
A・コーチ 横山 浩司								A・コーチ 矢島 俊恵							
合計			67	3	25	8	9	合計			41	4	14	1	12

S:スターター PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファール

2回戦。高崎が#4 宮本のドライブインで先制。そのままオールコートマンツーマンを展開する。共栄は高さを生かしてハイポストから#6 吉留がミドルシュートを決め、ここからオールコートマンツーマンを開始。さらに#8 本多が連続ゴールを重ねて反撃する。高崎も#9 市原がドライブインと3Pを決めて応戦する。しかし、共栄がペイントエリアを中心とした堅実な攻めを続け、第1Qを16-9で終える。第2Qは序盤から共栄がゴール下を果敢に攻めるが、高崎はこれをダブルチームで固め、簡単には決めさせない。その後高崎は#9 市原の連続ドライブインで3点差に詰める。#15 森が3Pを決め、#9 市原のドライブインで同点に追いつき、25-25の同点で折り返す。第3Q、両チームオールコートの激しい守りが続く。しかしこのクォーターから共栄#4 川名のポストプレイとリバウンドで高崎の守りを崩す。更に#7 白井のバスケットカウントを重ね、高崎が開始3分で初のタイムアウトを取る。#6 吉留が落ち着いてフリースローを決め、チームのディフェンスも勢いが増し、パスカットからのレイアップなどで一気に19点差として第3Qを終える。第4Q早々、高崎の速い攻めで得点を奪うも、#4 宮本を起点とした共栄の攻撃が止まらない。残り4分で28点差へ。主力を交代してからも共栄#9 田邊の3Pなどの猛攻は続き、粘り強くマンツーマンを続けた共栄がこの試合を制した。